

2023 年（令和 5 年）10 月 27 日

逗子市

米軍イケゴ小学校と逗子小学校が親善交流 ～地区内本設小学校開校後は初の交流

このほど(2023 年 10 月 19 日)池子住宅地区にあるイケゴエレメンタリースクール 2・3 年生(Fisk Mary 校長)と逗子小学校 2 年生(杵山英廷校長)が親善交流を行った。

逗子小学校の児童は、校外学習の一環として実施したものの。

当日朝 9 時ごろ、逗子小学校 2 年生約 120 名が京急神武寺駅米軍専用改札口から米軍池子住宅地区内に入った。米軍の案内のもと、地区内を 10 分ほど歩き、イケゴエレメンタリースクールに到着し、2・3 年生約 70 名が逗子小学校児童の到着を出迎えた。

両校児童がそれぞれ 6 つのグループにわかれ、校内見学ツアー、カードゲーム、ダンス、工作など約 3 時間に亘って交流を行った。途中、ランチルームで昼食をともにした。

このような小学校同士の交流は、2014 年（平成 26 年）にイケゴエレメンタリースクールが本格開校してから初めての試み。

イケゴエレメンタリースクールの先生と逗子小学校の先生が知り合ったことがきっかけで交流するに至った。

来年 2 月には、逗子小学校側が今回交流したイケゴエレメンタリースクールを招き交流を深める予定としている。

児童の声

- ・さいしょはよくわからなかったけど、だんだんなれてきて楽しかったです。
- ・さいしょは話がつうじないからドキドキしていました。知ってるえいごをつかおうと思いましたが、ゆうきが出せなくて話ができませんでした。なれてくると、少しずつ話せるようになりました。
- ・えいごのことばを話してる時じゅもんに聞こえました。でも外国人からわたしたちが話していることばもじゅもんみたいに聞こえるのかなと思いました。いつもは行けないところに行けて本当によいたいけんになりました。

・また、いけごエレメンタリースクールにいて、外国人と一緒にあそびたいなと思いました。

逗子市教育委員会、逗子市のコメント

同じ地域に住む隣人として、今回のような交流を積み重ね、双方の理解を深めていくことが大切であると考えている。この度の交流をきっかけに、今後も交流する機会を増やしていきたい。

【付属資料】

資料 1 : 当日写真

本件に関するお問い合わせは、
基地対策課 米山、坂本（内線 326）